



革命のバトンが新世代へ ディアスカネル新議長誕生

4月19日、キューバ人民権力全国会議においてミゲル・ディアスカネル氏が国家評議会の新議長に任命されました。新議長は就任の演説の中で、革命成し遂げた「革命第一世代」への深い感謝を表明するとともに革命の継続を強く訴えました。

「第一世代から引き継いだ革命を継続」

国外の圧力に屈することなくキューバ人民自らが未来を決定するため、自決権を守り抜くこと。これがキューバ共和国元首に就任したミゲル・ディアスカネル国家評議会議長が掲げる主要な見解の一つです。彼は就任後、最初の演説で「この極めて歴史的瞬間に、自分に託された任務はキューバ革命の継続である」と断言しました。また、前任者であるラウル・カストロ前議長は、キューバ共産党の党首を2021年まで継続して務め、「現在と未来に向けて非常に重要な党の指導性」を発揮していくこととなりました。

ディアスカネル国家評議会新議長は「これほど長い年月、戦いの中で積み上げてきた成果を破壊するような譲歩の余

地は断じてありえない」と、世代交代によるキューバの政治体制の本質的な変化を否定する明快なメッセージを発しました。

また、「歴史的な革命リーダーであり手本であるフィデル・カストロの遺産、さらには革命のプロセス上にある現在のリーダーであるラウル・カストロが与えてくれた教訓に、私たちは誠実であらねばならない」と訴え、「フィデル・ラウルの道」を力強く進んでいく決意を示しました。



ミゲル・ディアスカネル新議長

来歴



- 1960年4月20日
 ビジャクララ州プラセタス生まれ
- 1982年 電気技師としてキューバ
 国軍に入隊
- 1985年 除隊。ビジャクララ中央大学マルタ・アブレウ校教授
- 1987年 キューバ青年共産主義同盟(UJC)加盟、
 第二書記官としてニカラグアに赴任
- 1989年 帰国
- 1989~1991年 UJC 第二書記に就任(第一書記
 はロベルト・ロバイナ)
- 1993年 キューバ共産党に入党。ビジャクララ州委
 員会第一書記に就任
- 2003年 党中央政治局員に就任
- 2009年 高等教育大臣に就任
- 2012年 閣僚評議会副議長に就任
- 2013年 国家評議会第一副議長に就任
- 2018年 国家評議会議長に就任

経済封鎖下を生きる カリブの社会主義 XIX



2018年版

頒価800円
 (送料込)

好評発売中



CUBAPON 2017年度 収支報告 (17年6月1日~18年5月31日)

● 支 出

会報印刷代	48,762	CUBAPONニュース52号、53号、54号
その他印刷代	63,252	チラシ、封筒、資料
送 料	98,527	会報、連絡等
事務局諸費	13,000	会議、HP分担費等
事業費 ①	150,000	ハリケーン「イルマ」支援金
事業費 ②	142,250	19回訪問団経費補填
資 料 代	18,000	「カリブの社会主義XIX」買取
計	533,791	

● 収 入

会 費	174,000	58名
17寄付金①	106,000	CUBAPON活動への寄付(個人カンパ11件)
17寄付金②	169,000	ハリケーン「イルマ」カンパ
17借入金	84,791	IFCCより便宜供与で清算
計	533,791	

※ 不足金が生じたがIFCCより便宜供与で収支バランスを整えた。

● 前年度繰越借入が280,390円あったため、活動の縮減を計画しましたが、2017年度も84,791円の不足金が生じました。17年度不足金はIFCCからの便宜供与で処理しました。

● 求められている活動と組織体力との差が大きくなっています。特にベネズエラ情勢が緊迫しておりキューバ連帯と同一線上で情報発信する中で会報発行回数が増えてしまいました。2018年度は会費納入分相当に準じた活動に努めます。

● 2016年度からの繰越借入金縮減を図るため、活動支援の「特別カンパ」を呼び掛けます。

CUBAPON 会費協賛と 活動協力カンパを呼びかけます



ベネズエラ情勢をはじめ中南米情勢が緊迫しています。CUBAPONはキューバ連帯を旗を掲げるとともに、中南米人民の闘いと状況を発信していきます。

ご協力をおねがいします

セニョリータの

キューバ★ウォッチ



- 5月18日、ハバナ郊外で離陸直後の国内線旅客機が墜落、112名が死亡する大事故となりました。
- 中部から西部にかけて洪水被害が出ています。サンクティ・スピリトゥス州で2千戸の住居が倒壊した他、河川の氾濫などで現在死者7名、行方不明2人が出ています。
- 事故、災害の被害に遭われたご家族の皆さんに心から哀悼を捧げるとともに、「頑張れキューバ #Fuerza Cuba」の思いを伝えたいと思います。
- 中米[グアテマラ]では火山の噴火により大きな被害が出ています。キューバ人医師団とラテンアメリカ医学生グループが現地に飛び、援助に当たっています。
- 一方、[乳児死亡率]が前年度4.0から3.9に記録更新したとの明るいニュースも伝えられています。乳児死亡率とは年間の1000出産当たりの生後1年未満の死亡数で、カナダ、ニュージーランドなどの先進国より低い数値です。
- キューバは「いのちを守る」ことに一生懸命な国。こうしたこともフィデルの思いを引き継ぐ決意の表れと言えます。

TROPIC-TOUR

アイエフシー

はCUBAPON関連の手配旅行社です
キューバをあなたに届けます

- ◆ アイエフシーはIFCC国際友好文化センターの関連旅行社です。“人と人との出会い”を通じた友好・交流プログラムを演出します。
- ◆ アイエフシーは文化、政治、福祉、環境分野の視察、研修、調査のプログラムをお手伝いします。
- ◆ アイエフシーはキューバなど中南米、ベトナム・中国などアジア、ドイツなど西欧、デンマークなど北欧のプランニングを行っております。

東京都知事登録旅行業第3-3757号

〒162-0801

東京都新宿区山吹町333番地 辻ビル405

TEL 03-3268-6014 FAX 03-3268-6079

《資料》

米州機構(OAS)事務総長へ

手紙が語る「陰謀の裏側」



アルマグロ事務総長・(トランプと)マルコ・ルビオ米上院議員・ロサ・マリア・パジャ

4月13日、14日にペルーの首都リマで開かれた第8回米州首脳会議で、ベネズエラ及びキューバに対する計画的な攻撃が実行されるよう支援の取り付けた手紙が発見されました。これは、「民主主義のための青年ラテンアメリカネットワーク」の代表ロサ・マリア・パジャから、2018年1月4日付で米州機構(OAS)のルイス・アルマグロ事務総長に宛てられたもので、外交面・経済面でベネズエラを孤立させることを目論んだものです。

書簡に登場する米フロリダ州選出の共和党議員マルコ・

ルビオは、ラテンアメリカの事案に関しトランプ政権で大きな影響力を持っている上、ポンペオ国務長官もルビオ氏の助言を聞いています。また、米州機構アルマグロ事務総長は、国際社会にベネズエラへの介入を促し経済戦争を激化させるため、これまでも様々な機会を通じてベネズエラに関する虚偽を捏造してきた人物です。

書簡は、国民が選んだ民主的政府に対して前述の人物らが取ろうとしている行動・意図を明らかにし、「陰謀の裏側」を赤裸々に物語っています。

2018年1月4日

米州機構事務総長

ルイス・レオナルド・アルマグロ・レメス様

いつものように感謝と敬意をもってお手紙差し上げます。本状では、クチンスキー(ペルー前)大統領に対する汚職スキャンダル及び告発の後ペルーが直面している情勢に関し、私の懸念を貴殿にお伝えしたいと思います。

本状では、私自身及び私が代表を務めている「民主主義のための青年ラテンアメリカネットワーク」(以下JueventudLAC)として、貴殿に懸念をお伝えしたいと思います。

懸念とは、ペルーがクチンスキー同国大統領の汚職スキャンダル及び告発ののち直面している情勢のことで、貴殿もご存知のように「汚職に対する民主的統治」をメインテーマとしてリマで開催が予定されている米州首脳会議にとっても重要な問題です。ベネズエラとキューバの独裁政権並びにその他米州ポリバル同盟(ALBA)加盟国によって、この嘆かわしい現実が利用されるであろうことに、私は一片の疑念も持っておりません。彼らの目的は、注意を逸らし、JueventudLACの行動を抑えることです。

こうした懸念について最近、マルコ・ルビオ上院議員と会談しました。ルビオ氏はいつものように、当団体のあらゆるイニシアチブにおいて私を支援し続ける用意があると述べ、さらに次のように私に伝えました。

1. ペルーは今回の米州首脳会議の開催国として理想的な国ではないが、(米国)国務省はその状況に対応する準備ができているという点で私と一致しました。
2. クチンスキー氏は、ベネズエラに対して行動を続けるにあたり、米国が操り、圧力をかけることができる必要な人物であると述べました。
3. 彼らのようなラテンアメリカの首脳らは皆汚職にまみれているが、対ベネズエラ・対キューバに役立つ限りは彼らを利用してつづけるべきであると、貴殿と同様、ルビオ氏は認識しています。
4. 独裁者ニコラス・マドゥーロへの圧力・非難を強めるため、ルビオ氏は直接的にペルー・グループを通じてであり、米国政府で及ぼし得る限りの影響力を行使し続けるでしょう。したがって、JueventudLACのいかなる行動も歓迎であると述べました。
5. 上記に関し、私たちが米州首脳会議の枠組みを利用して「第6回民主主義のための青年フォーラム」を実現する予定であることを私からルビオ氏に伝えました。このフ

ォーラムにより、ベネズエラとキューバに打撃を与え、両国への米州民主主義憲章の適用、あるいは少なくとも両政府が地域から承認されないことを私たちが支持するのに役立つ文書が作成され、貴殿に渡されることでしょうか。

6. ルビオ氏は「キューバは決める」プロジェクトを支援し続けるとしましたが、現在、最も優先順位が高いのはキューバではなくベネズエラだと私に明確に述べました。ベネズエラ政府をいかなる手段を使っても打倒しなければならぬと、強い口調で述べました。ルビオ氏によると、マドゥーロ氏が政権を手放すことによって、キューバの「自由」達成に向けて戦略的に重要な一歩を踏み出すということでした。

7. JueventudLACが「招待する者は共謀者だ」のスローガンのもと2月初めにチリで署名運動を実施する予定であると、私からルビオ氏に説明しました。これはニコラス・マドゥーロ氏もラウル・カストロ氏も(チリ新大統領の)就任式に招待しないようチリ政府に求めるものです。これに対しルビオ氏は、両者の米州首脳会議への参加を阻む上で先事例となり得る良い取り組みだと述べました。

8. キューバ内部にさらに入り込んでいくため、「キューバは決める」プロジェクトを強力に取り組み続けるとの私の決意を表明しました。この点、私たちは既にかなり進展を遂げてきましたが、残念ながらいつもの問題により、キューバの反対勢力全ての支援は得られていません。

9. また、2月初めにマイアミである運動を始めるためいつものように貴殿の支援をいただくと確信しています。一準備していることをルビオ氏に伝えました。運動の目的は、キューバの選挙プロセスの茶番を告発するとともに、自由選挙の結果ではない場合は権力移譲が認められないよう働きかけることです。

「民主主義のための青年ラテンアメリカネットワーク」(JueventudLAC)より貴殿へ、共に取り組むことへの私たちの決意をお伝えします。私たちが貴殿の勇気を賞賛する全ての者から友愛の抱擁をお送りするとともに、私より最大の敬意を表します。

(署名)

民主主義のための青年ラテンアメリカネットワーク代表
ロサ・マリア・パジャ

参加者募集中

キューバへ。「もうひとつの世界」へ。



2018秋 キューバ平和友好訪問団



第21回キューバ友好訪問団は、革命成功59年目のキューバの医療、教育の現状の見聞を通し、「もう一つの世界」を知ることがを目的に今秋出発を予定しています。

「アメリカから見た中南米」のニュースにしか入って来ない日本にあっては、実際に行き、見て、聞くことでしか感じられないものがあります。

第21回訪問団で「もうひとつの世界」を感じてみませんか。

革命の成果—「教育と医療」を視察

誰もが無料で受けられる高いレベルの教育と医療は革命が成し遂げた成果の一つです。

キューバが誇りとする教育と医療の現場を視察し、今なお進行中のキューバ革命を体感します。

革命の背景—豊かな自然と文化・歴史に触れる

青い空に映える緑の大地、歴史が薫るコロニアル様式の街並み、キューバの美しい景観は世界の人々を魅了してやみません。そこには革命へと連なる歴史があります。

キューバで世界文化遺産に登録されている町は7つあります。その中の3つ、ハバナ、トリニダ、シエンフエゴを訪れ、キューバの豊かな自然と文化・歴史を満喫します。

実施日 **2018年11月22日～29日(8日間)**

※ご希望の方には詳細資料をご案内しますので CUBAPON 事務局にお申し出ください。

資料 コロンビア政府が「NATOのグローバルパートナーへ」の“怪”

ベネズエラに隣接するコロンビア共和国がNATO（北大西洋条約機構）へのグローバルパートナーとしての参加を表明したことに対し、ベネズエラ政府が声明を発表しました。「ラテンアメリカ及びカリブ地域に核能力を保有した外部の軍事同盟を導入しようとするコロンビア当局の意図を、ベネズエラは国際社会に改めて告発する。」としています。

大使館訳

ベネズエラ・ボリバル共和国
声明

ベネズエラ・ボリバル共和国大統領ニコラス・マドゥーロ・モロスは、コロンビア共和国大統領フアン・マヌエル・サントスが2018年5月25日金曜日に行った、コロンビアの北大西洋条約機構（NATO）へのグローバルパートナーとしての参加に関する異例の発表を、ベネズエラ国民及び政府を代表して拒否する。

ラテンアメリカ及びカリブ地域に核能力を保有した外部の軍事同盟を導入しようとするコロンビア当局の意図を、ベネズエラは国際社会に改めて告発する。これは、主権を有する我々の諸国民の福祉に反する恥ずべき利害を擁護する点で、明らかに、平和と地域の安定にとつて深刻な脅威となるものである。

NATO並びに、ある政治・経済モデルの覇権をとりわけ押し付け保証する目的で武力の行使に訴え諸国民の苦しみを利用しようとするような、いかなる他の軍隊又は軍事機構の政策及び好戦的な行動とも一定の距離をおくという、ラテンアメリカ及びカリブ地域の歴史的な立場を世界は知っている。

私たちはコロンビア共和国政府に、国際的責務を守り遂行するよう勧告する。その責務においてコロンビア政府は、平和及び紛争の平和的解決の保証を目的とした地域組織にメンバーとして加わってきたのである。例えば、ラテンアメリカ及びカリブ地域における核兵器の禁止に関するトラテロコ条約、ラテンアメリカ及びカリブ地域を平和地帯と宣言したCELACのハバナ宣言、UNASURの国防評議会の枠組みで承認された平和地帯としての南米宣言並びに信頼と安全の推進措置及びその手順といったものが特筆される。

ベネズエラ・ボリバル共和国は改めて、ラテンアメリカ及びカリブ地域の諸国民を脅かそうとする、域外からのいかなる種類の脅威をも拒否する。これら諸国民は、協力の精神、国際公法の尊重、発展の権利、生存権、ひいては平和に生きる権利により、自由で独立であることを決意した国民である。

カラカス、2018年5月26日

【NATOとは】

北大西洋条約機構は、北大西洋条約に基づき、アメリカ合衆国を中心とした北アメリカ（＝アメリカ合衆国とカナダ）およびヨーロッパ諸国によって結成された軍事同盟。

略称は頭字語が用いられ、英語圏などではNATOと呼ばれる。

「集団防衛」、「危機管理」及び「協調的安全保障」の三つを中核的任務としており、加盟国の領土及び国民を防衛することが最大の責務。

冷戦終結後は欧州周辺での紛争などの鎮圧とその後の治安維持、テロに対する各国の協力捜査の協力体制を構築している。

【日本との関係】

自衛隊では在日米軍が使用する武器弾薬との互換性を確保するためにNATO弾を使用しているほか、さまざまなNATO規格を採用している。近年では、2005年にNATO事務局長が訪日、また2007年には安倍晋三首相が欧州歴訪の一環としてNATO本部を訪問しており、人的交流の面でも新たな関係が構築されはじめている。

NATOはアフガニスタンにおける活動の中で、現地の日本大使館が行っている人道支援や復興活動に注目しており、軍閥の武装解除を進める武装解除・動員解除・社会復帰プログラム(DDR)の指導者的立場にある日本との連携を模索している。欧州歴訪中の安倍晋三首相は6日(2014年5月)、北大西洋条約機構(NATO)本部を訪れ、海賊掃討作戦、災害対策、人道支援などの分野でNATOとの連携を強化する新たなパートナーシップ協定に調印した。